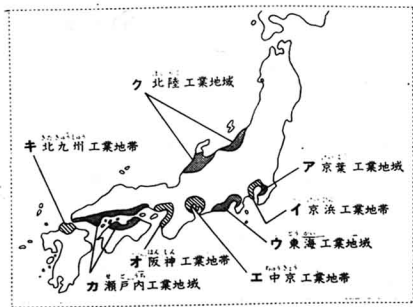


3. つぎの(1)～(3)の文は、工業のさかんな地域のようすを説明したものです。あてはまる地域を、下の地図の中から一つずつえらび、その記号を書きなさい。

- (1) 海上の交通も便利な西日本にある新しい工業地域です。製油・石油化学・造船などの工業がさかんです。その工場排水が大きな原因となって、広いはんいの海をよごすようになりました。
- (2) 日本のなかで、もっとも工業生産額が多い工業地帯です。機械・食品・印刷などの工業がさかんです。
- (3) この地方は、むかしから繊維・紡績工業がさかんですが、冬に雪が多く、豊かな電力を利用して、化学工業も発達するようになりました。

(1)	①
(2)	②
(3)	③



- 4 -

4. つぎの文を読み、□の中にあてはまることばを書きなさい。

- (1) 資源が少ない日本では、外国から輸入した原料を(1)し、製品にして輸出しています。
- (2) 原料や材料のうえで関係の深い工場が集まって、たがいに結びついて生産するしくみを(2)とといいます。
- (3) 現在、日本では、工場などから出されるよごれた水や空気で、人々の健康がおびやかされたり、環境が破壊されたりするような(3)がおきています。

(1)	(2)	(3)
④	⑤	⑥

5. つぎの文を読み、□の中にあてはまることばを書きなさい。

日本の近海には、暖流の日本海流(黒潮)と対馬海流、寒流の(1)海流(親潮)が流れ、魚がすみやすい水深200メートルぐらまでの(2)が広がっています。

太平洋がわでは、暖流と寒流が夏には三陸海岸のおきて、冬には房総半島のおきてぶつかります。暖流と寒流がぶつかるころは、魚のえさになる(3)が多いので、よい漁場となります。

(1)	(2)	(3)
⑦	⑧	⑨

- 5 -

6. つぎの文のうち、正しいものを二つえらび、その記号を書きなさい。

- ア. 日本の漁業は沿岸漁業が中心で、漁民の収入も多く、生活は安定しています。
- イ. 日本は世界一の漁かく高をあげる水産国ですが、とった魚の大部分を輸出しています。
- ウ. わが国のまわりの海は、よい漁場にめぐまれています。沿岸の一部では工場や都市の排水によってよごされ、多くの問題がおきています。
- エ. これからは、水産資源を保護し、育ててとるさいばい漁業にも力を入れなければなりません。
- オ. わが国の漁かく高が年々ふえてきたのは、漁場の開発や保護を続けてきた結果、沿岸漁業が発達したからです。

	⑩
6	⑪

- 6 -

7. 日本は南北に細長く、地形も複雑な国なのでおなじ日本でも地方によって気候がちがいます。つぎの(1)～(4)の地域にもっともよくあてはまるものを、下の□の中から一つずつえらび、その記号を書きなさい。

- (1) 太平洋がわ
- (2) 瀬戸内
- (3) 日本海がわ
- (4) 北海道

(1)	⑫
(2)	⑬
(3)	⑭
(4)	⑮

- ア. つゆのえいきょうをほとんどうけないこの地方は、夏が短かく、冬の寒さがきびしいところです。
- イ. 夏はたいへん暑く、冬でもあたたかく、一年を通して雨が多いところです。
- ウ. 冬はくもりがちの日が続き、雪が多く降るところです。
- エ. 夏は雨が多いが、冬は晴れた日が続く雨が少ないところです。
- オ. 一年を通して気候がおだやかで、雨が少なく、日照りにそなえて、ため池が多くつくられているところです。

- 7 -